

## 幼児を知ろう

### プログラムのねらい

近年の少子化により、幼児とかかわりをもったことのない中学生・高校生が増加しています。幼児と親とかかわりを観察し、幼児の望ましい成長には心の発達に応じた適切な親のかかわりが必要であり、この根底に信頼関係や愛があることに気付かせていくことをねらいとします。そして今後、幼児とかかわる機会や将来親になった時、適切な行動を取ることができるように学習します。

### 【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方 ○ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介をします。</li> <li>○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。</li> <li>○自己紹介やゲームを行い、緊張を和らげたり、参加しやすい雰囲気づくりをします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく元気な話し方を心がけます。</li> <li>○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。</li> <li>○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。</li> <li>○ゲームなどが終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。</li> <li>○1グループにつき5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。</li> <li>○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎親の自己紹介や親子のかかわりを観察して気付いたことを「ワーク1」の資料に書き込んでみましょう。</li> <li>◎子育てについて質問したいことをグループで意見交換をして「ワーク2」の資料にまとめましょう。</li> <li>◎グループで出た質問については、代表者が発表し、親の立場から答えてもらいましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児だけに目がいつている場合には、親の子への対応や親子のかかわりに注目するように働きかけます。</li> <li>○必要に応じて、ささいなことでも聞いてみるように働きかけます。</li> <li>○質問が重複した場合は、その回答をメモし、同じ質問はしないように話します。</li> <li>○時間があれば複数の親に答えてもらい、子どもの成長は個人差が大きいことや様々な考えや方法があることを知らせます。</li> <li>○子どもの心身の発達に応じた対応が適切な親子のかかわりには必要であることをつかませるようにします。</li> </ul>

	<p>○幼児とふれあう時間を設定します。</p> <p>◎気付いたことや感じたことをワーク3に記入しましょう。</p>	<p>○ワーク1、2の学習を生かして幼児とふれあうように話します。</p> <p>○事故防止には十分注意するよう話します。</p> <p>○中学生と幼児がふれあっている時は、会場を回り様子を観察します。</p> <p>○事故につながる行為については、その場で注意します。</p> <p>○記入する際は、今後、幼児と接する時に参考になると感じたことを書くように話します。</p> <p>○子育てには、信頼関係や愛情が根底にあることを気付かせるようにします。</p> <p>○中学生たちに自分たちも愛情を受けて育てられたことを再認識させるような話をします。</p>
まとめ 10分	<p>◎今日の学習のまとめをしましょう。</p> <p>○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。</p> <p>○発表してもらいます。</p>	<p>○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。</p> <p>○あらかじめ、数人の生徒に感想を発表してもらおうようお願いしておきます。</p> <p>○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。</p> <p>○今日の幼児とのふれあい体験を通して、中学生たちに今までの成長を振り返らせ、家族の愛情や信頼関係にまつわる話をし、まとめます。</p>

※ 設定時間が短い場合には、ワーク2、3を中心に流れを考えるようにします。

